

【児童への話】

2学期が始まり、2週間が経ちました。心と体は、もうすっかり学校モードに戻りましたね。今週も、『時間 言葉 用意』をしっかり意識して生活するとともに、一日ひとつ、「人のためになること」「かしこくなること」「元気になること」を、頑張ってみてください。

今日は、「数（かず・すう）と生活の結び付き」についてのお話をします。

明日の火曜日は9月9日です。昔から、9という数字には、「太陽のように明るく大きな数」という意味があります。この日は、その9という太陽の数がふたつ重なった日ということで、「重」なる太「陽」で「ちょうよう」、「重陽の節句」と呼ばれています。とてもめでたい日とされていて、菊の花を飾って、おいしい物を食べてお祝いをすることから、一般的には「菊の節句」と言われています。今日、お家の方に、「明日は菊の節句だから、お祝いしようよ。」としてみてください。お家の方、きっとびっくりしますよ。ひよっとすると、おいしい物が食べられるかもしれません。

その他にも9月9日は、「きゅう」が2つ続くので、「救急の日」ともされています。救急車の救急です。それから、「ロールケーキの日」とも言われています。これは、ロールケーキを切った面がグルッとうずまきになっていて、数字の9のように見えるからです。

このように、日本の人々は昔から数に関心をもち、語呂合わせなどで覚えやすくしながら、生活に深く結び付けて、世の中を楽しく便利にしてきました。皆さんもいろいろな数や日付について調べてみてください。算数の楽しさを味わって、算数大好きになって欲しいと思います。

最後に、算数に関わるクイズをひとつ出します。分かった人は天才です。

「毎月22日は、ショートケーキの日です。なぜでしょう。」

分かった人は、こっそり先生にその理由と一緒に答えを教えてくださいね。今日は、「数（かず・すう）と生活の結び付き」についてお話ししました。

【本講話について】

2学期のスタートから2週間が経ちました。週末には上落合西町会と中央町会の祭礼があり、わっしょいわっしょいと子ども神輿を元気にかつぐ子どもたちの姿を見ました。また、それを支える地域の皆様の優しい笑顔がとても印象的でした。やはり地域あつての学校です。今後ともよろしくお願ひいたします。

今週は「数」についての朝礼講話でした。本年度の全国学力・学習状況調査の意識調査からは、再び全国的に子どもの理数離れが見られるという結果があります。数学や科学は人類の生活を豊かにするためになくてはならない学問です。理数教育に興味関心の高い子どもを増やしていきます。

※最後のクイズの答えは…

「毎月のカレンダーで、上が必ず15日だから（=イチゴが乗っているから）」でした。